

菊山當年男 とねやま 歌人、陶藝家。明治十七年十一月一日三重縣上野市生れ、昭和二十五年十一月七日歿（八八歳一五六）。本名種男。筆名菊山たねき。早く歌集『土』（大正三年刊）を出版。大正九年『アララギ』に入り齋藤茂吉の師事、歌集『天竺』（昭和二十五年刊）を残す。また昭和十一年古伊賀焼を復興、翌年東京と大阪高島屋で最初の個展を開く。十八年（は）商工省の陶藝技術保存該當者（に）登録せられ、二十一年（に）重縣無形文化財の指定を受けた。

一方古伊賀研究家として知られ、『はせき』（昭和十五年刊）、『古伊賀研究』（昭和十八年刊）を上梓。遺稿集の『古伊賀研究』（昭和二十七年十一月十日角川書店）には、その餘の古伊賀について書かれた諸文と共に、『伊賀焼興し史』を附載。他に郷土讀物『敵討伊賀越』（昭和七年五月）『古伊賀三重・キウヤマ印刷所』を著し、當時倉ら經營してゐた印刷所から刊行。